

授業科目 保健医療福祉リスクマネジメント論

| 【担当教員名】 中山 和美 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報 | |
|--|-------------------------------------|----------------|---|----------------------------------|------------|
| | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 選択 | |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 | |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 【概要・一般目標：G10】 < G10 > 保健医療福祉分野におけるリスクマネジメントを実施するための基礎知識と方法を習得する。 | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 < SBO > 1 リスクマネジメントの概念を説明できる 2 リスクマネジメントのプロセスと実践を理解し、説明できる 3 被害被害者の体験談を聞くことで保健医療福祉分野での事故の重大性を実感し、適切な事故対策を選択できる 4 リスクに対する感性を磨き、リスク回避ができる医療人になる | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 | |
| 1 | 【オリエンテーション】および【講義】医療安全とリスクマネジメントの概念 | | 12 | 東條猛 | |
| 2 | 【グループワーク】保健医療福祉現場におけるリスクを考える | | 124 | 担当教員 および ファシリテータ教員 | |
| 3 | 【グループワーク】リスクセンス・トレーニング | | 234 | 担当教員およびファシリテータ教員 | |
| 4 | 【グループワーク】リスクの分析を考える | | 24 | 担当教員 および ファシリテータ教員 | |
| 5 | 【講義】日本における被害被害の実態 | | 1234 | 外部講師：佐藤嗣道（東京理科大学） | |
| 6 | 【講義】病院における医療安全管理の実際 | | 1234 | 外部講師：笠原明美（PT） | |
| 7 | まとめ、リフレクション | | 1234 | 担当教員 | |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | なし | | | |
| 参考書 | | 医療安全とリスクマネジメント | 嶋森好子 | ヌーヴェルヒロカワ | 2,520円+税 |
| その他の資料 | | その都度配布 | | | |
| 【評価方法】 1. 出席日数を満たさない（3回以上欠席した）者は単位を認めない 2. 欠席が2回以下の者であっても欠席は減点とする 3. グループワークへの参加度やレポートによっては減点する | | | 【履修上の留意点】 授業は講義とグループワーク（5～7名程度で行う）で行う。 参加型学習なので、積極的に参加し活動することに意義がある。したがって評価もそれに準じて行う。 | | |